

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 北陸財務局長

**【提出日】** 2019年6月14日

**【四半期会計期間】** 第41期第2四半期(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

**【会社名】** 株式会社ウイルコホールディングス

**【英訳名】** Wellco Holdings Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子

**【本店の所在の場所】** 石川県白山市福留町370番地

**【電話番号】** 076-277-9811(代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務部長 林 岳志

**【最寄りの連絡場所】** 石川県白山市福留町370番地

**【電話番号】** 076-277-9811(代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務部長 林 岳志

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期 連結累計期間	第41期 第2四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自 2017年11月1日 至 2018年4月30日	自 2018年11月1日 至 2019年4月30日	自 2017年11月1日 至 2018年10月31日
売上高 (百万円)	7,659	8,410	15,271
経常損失 ( ) (百万円)	158	95	258
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純損失 ( ) (百万円)	236	12	254
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	123	140	207
純資産額 (百万円)	6,320	6,037	6,226
総資産額 (百万円)	16,939	17,401	16,753
1株当たり四半期(当期) 純損失金額 ( ) (円)	9.62	0.49	10.35
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.3	34.7	37.2
営業活動によるキャッシュ・ フロー (百万円)	939	738	627
投資活動によるキャッシュ・ フロー (百万円)	95	96	63
財務活動によるキャッシュ・ フロー (百万円)	238	120	291
現金及び現金同等物の四半期 末(期末)残高 (百万円)	4,054	4,251	3,253

回次	第40期 第2四半期 連結会計期間	第41期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年2月1日 至 2018年4月30日	自 2019年2月1日 至 2019年4月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失 金額 ( ) (円)	1.36	6.82

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（2018年11月1日～2019年4月30日）における我が国経済は、2019年1-3月期のGDP成長率が、年率換算で実質2.2%増と2四半期連続のプラス成長となりました。国内経済は企業収益が堅調に推移し、個人消費や雇用環境についても改善が続くなど、緩やかな拡大基調が続きました。一方、米中貿易摩擦の長期化、英国の合意なきEU離脱の可能性等によるサプライチェーンへの世界的な影響と混乱、またそれによる景気後退も懸念され、先行きは非常に不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境は、広告メディアの多様化による紙媒体の需要減少等の影響により、毎月の印刷用紙の国内出荷は、前年同月対比で連続して減少をしておりますが、製紙メーカー各社が打ち出しました用紙値上げにつきましても、着実に浸透しつつあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、引き続きデジタル印刷を含めた当社独自製品の販売に注力を致すとともに、印刷用紙価格の値上げ分の転嫁を進めた結果、セグメント売上高は5,811百万円（前年同期比11.0%増）と増収になりました。また、今後の増収策として、引き続きECサイトにも注力してまいります。製造面では、工場の人員配置の流動化および製造オペレータの多能工化、提案制度による生産性向上等により、セグメント利益は233百万円（前年同期比111.9%増）となりました。

メディア事業につきましては、コスト削減のため本社事務所の移転等の諸策を講じましたが、当初の想定通り、上期はそのための費用発生が先行し、成果は下期を待つこととなります。また、事業領域拡大のため、新規に、WEBサイトを軸としたエリアマーケティング支援事業に取り組んでおりますが、一部において納期のズレが発生し、売り上げ計上が下期に繰越となったこと、人材紹介のための「Eしごとばどサイト」をオープンするための先行投資の結果、セグメント売上高は905百万円（前年同期比22.2%減）、セグメント利益は56百万円の損失（前年同期は63百万円の損失）となりました。第3四半期以降は、事業構造改革による売上高の回復及びコスト削減が具現化される見込みです。

知育事業につきましては、主力商品である音の出る本及び月刊誌の付録については堅調に推移しました。また、小学校の英語教育授業実施に伴う音ペン等の教育玩具の新規引き合いも増加している等の要因もありますが、当上期は、昨年の上期においては連結には含まれていなかった一社が新たに連結対象となったことから、セグメント売上高は2,182百万円（前年同期比32.3%増）と大幅な増加となっております。利益面では為替予約やグループシナジーによる原価低減策は功を奏しましたが、昨年同期における発刊数の大幅な増加が、今上期の在庫増加につながり、当該在庫に関わる評価減を行った結果、一時的な損失が発生し、セグメント利益は104百万円の損失（前年同期は103百万円の利益）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,410百万円（前年同期比9.8%増）となり、営業損失は140百万円（前年同期は営業損失64百万円）、経常損失は95百万円（前年同期は経常損失158百万円）、関係会社株式売却益121百万円の特別利益の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失236百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は17,401百万円と、前連結会計年度末に比べて647百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加997百万円、商品及び製品の減少134百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は11,363百万円と、前連結会計年度末に比べて837百万円増加いたしました。これは主として、電子記録債務の増加540百万円、支払手形及び買掛金の増加168百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,037百万円と、前連結会計年度末に比べて189百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少61百万円、その他有価証券評価差額金の減少92百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ997百万円増加し、4,251百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、738百万円(前年同期比200百万円の減少)となりました。これは主として、仕入債務の増加額716百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、96百万円(前年同期は95百万円の支出)となりました。これは主として、関係会社株式の売却による収入310百万円、関係会社株式の取得による支出224百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、120百万円(前年同期比118百万円の減少)となりました。これは主として、長期借入れによる収入1,000百万円、長期借入金の返済による支出677百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,600,000
計	76,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年4月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年6月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,650,800	24,650,800	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	24,650,800	24,650,800	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年2月1日～ 2019年4月30日		24,650,800		1,667		1,765

## (5) 【大株主の状況】

2019年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数に 対する所有 株式数の割合 (%)
有限会社わかさ屋	石川県金沢市粟崎町4丁目78-12	4,800	19.47
若林 和芳	石川県金沢市	4,636	18.81
若林 裕紀子	石川県金沢市	1,920	7.79
株式会社日本創発グループ	東京都台東区上野3丁目24番6号	1,200	4.86
ウイルコ役員持株会	石川県白山市福留町370番地	1,131	4.59
株式会社桂紙業	東京都北区桐ヶ丘1丁目20-12	1,000	4.05
大日精化工業株式会社	東京都中央区日本橋馬喰町1丁目7-6	960	3.89
株式会社北國銀行	石川県金沢市広岡2丁目12番6号	720	2.92
ウイルコ従業員持株会	石川県白山市福留町370番地	512	2.07
大和輸送株式会社	埼玉県行田市真名坂131-2	504	2.04
計		17,383	70.53

(注) 上記の所有株式数の他、2019年4月30日現在の役員持株会での持分として、若林和芳が36千株、若林裕紀子が644千株を保有しております。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,600	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 48,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,596,600	245,966	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	24,650,800	-	-
総株主の議決権	-	245,966	-

(注)「単元未満株式」の「株式数」の欄には、自己株式90株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ㈱ウイルコホールディングス	石川県白山市 福留町370番地	4,600	-	4,600	0.01
(相互保有株式) ㈱関西ばど	大阪市西区 靱本町1丁目10-24	48,000	-	48,000	0.19
計	-	52,600	-	52,600	0.21

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年2月1日から2019年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年11月1日から2019年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人により四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,850	4,848
受取手形及び売掛金	3,696	1 3,788
商品及び製品	700	565
仕掛品	158	135
原材料及び貯蔵品	197	382
その他	321	148
貸倒引当金	15	16
流動資産合計	8,908	9,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,147	1,117
機械装置及び運搬具(純額)	684	653
土地	2,602	2,602
その他(純額)	1,378	1,275
有形固定資産合計	5,812	5,648
無形固定資産		
のれん	500	456
その他	83	113
無形固定資産合計	584	570
投資その他の資産		
投資有価証券	1,019	902
長期貸付金	142	149
破産更生債権等	34	16
繰延税金資産	0	6
その他	343	326
貸倒引当金	91	71
投資その他の資産合計	1,447	1,329
固定資産合計	7,844	7,548
資産合計	16,753	17,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,844	1 2,013
電子記録債務	1,307	1 1,848
短期借入金	450	397
1年内返済予定の長期借入金	762	907
リース債務	232	234
未払金	503	554
未払法人税等	37	32
預り金	13	42
返品調整引当金	57	49
賞与引当金	90	85
資産除去債務	14	-
その他	231	169
流動負債合計	5,545	6,335
固定負債		
長期借入金	2,881	3,058
リース債務	1,208	1,090
退職給付に係る負債	480	480
繰延税金負債	307	292
資産除去債務	24	24
その他	79	81
固定負債合計	4,981	5,028
負債合計	10,526	11,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,641	2,580
自己株式	4	4
株主資本合計	6,063	6,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	2
繰延ヘッジ損益	34	2
為替換算調整勘定	12	10
退職給付に係る調整累計額	26	23
その他の包括利益累計額合計	163	34
純資産合計	6,226	6,037
負債純資産合計	16,753	17,401

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
売上高	7,659	8,410
売上原価	6,023	6,718
売上総利益	1,635	1,692
販売費及び一般管理費	1,700	1,832
営業損失( )	64	140
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	7	5
受取賃貸料	11	11
為替差益	-	53
受取保険金	2	-
その他	13	18
営業外収益合計	38	92
営業外費用		
支払利息	44	38
持分法による投資損失	14	2
不動産賃貸原価	4	2
為替差損	64	-
支払手数料	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	132	47
経常損失( )	158	95
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	9	0
関係会社株式売却益	-	121
特別利益合計	10	121
特別損失		
固定資産除却損	2	1
関係会社整理損	85	-
特別損失合計	87	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	235	25
法人税、住民税及び事業税	4	21
法人税等調整額	3	15
法人税等合計	0	37
四半期純損失( )	236	12
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	236	12

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
四半期純損失( )	236	12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	92
繰延ヘッジ損益	1	32
為替換算調整勘定	84	1
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	113	128
四半期包括利益	123	140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133	140
非支配株主に係る四半期包括利益	9	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	235	25
減価償却費	264	244
賞与引当金の増減額( は減少)	0	4
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	7	2
貸倒引当金の増減額( は減少)	12	18
返品調整引当金の増減額( は減少)	8	7
受取利息及び受取配当金	11	8
持分法による投資損益( は益)	14	2
支払利息	44	38
支払手数料	5	4
為替差損益( は益)	29	42
固定資産売却損益( は益)	0	-
投資有価証券売却損益( は益)	9	0
関係会社株式売却損益( は益)	-	121
固定資産除却損	2	1
関係会社整理損	85	-
売上債権の増減額( は増加)	21	101
たな卸資産の増減額( は増加)	143	27
仕入債務の増減額( は減少)	151	716
その他	157	74
小計	621	770
利息及び配当金の受取額	8	10
利息の支払額	40	38
支払手数料の支払額	4	4
和解金の受取額	380	-
法人税等の還付額	16	36
法人税等の支払額	41	36
営業活動によるキャッシュ・フロー	939	738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	0	0
定期預金の払戻による収入	2	-
有形固定資産の取得による支出	63	29
有形固定資産の売却による収入	310	30
無形固定資産の取得による支出	22	9
投資有価証券の取得による支出	7	-
投資有価証券の売却による収入	28	2
関係会社株式の取得による支出	99	224
関係会社株式の売却による収入	-	310
貸付けによる支出	241	10
貸付金の回収による収入	5	25
その他	7	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	95	96

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	100	52
長期借入れによる収入	900	1,000
長期借入金の返済による支出	355	677
リース債務の返済による支出	104	99
自己株式の取得による支出	0	-
非支配株主への払戻による支出	3	-
配当金の支払額	98	49
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	120
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	42
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,075	997
現金及び現金同等物の期首残高	2,978	3,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,054	4,251

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております

(四半期連結貸借対照表関係)

## 1 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
受取手形	- 百万円	59百万円
電子記録債権	- 百万円	22百万円
支払手形	- 百万円	83百万円
電子記録債務	- 百万円	168百万円

## 2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
電子記録債権割引高	96百万円	82百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
広告宣伝費	14百万円	62百万円
荷造発送費	278百万円	366百万円
従業員給料手当	606百万円	599百万円
賞与引当金繰入額	57百万円	52百万円
退職給付費用	18百万円	15百万円
貸倒引当金繰入額	12百万円	0百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
現金及び預金勘定	4,651百万円	4,848百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	596百万円	596百万円
現金及び現金同等物	4,054百万円	4,251百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年1月25日 定時株主総会	普通株式	98	4.00	2017年10月31日	2018年1月26日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年1月29日 定時株主総会	普通株式	49	2.00	2018年10月31日	2019年1月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,875	1,159	1,624	7,659	-	7,659
セグメント間の内部売上 高又は振替高	361	4	25	392	392	-
計	5,237	1,164	1,650	8,051	392	7,659
セグメント利益又は損失 ( )	110	63	103	150	214	64

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 214百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,345	903	2,161	8,410	-	8,410
セグメント間の内部売上 高又は振替高	465	1	21	489	489	-
計	5,811	905	2,182	8,899	489	8,410
セグメント利益又は損失 ( )	233	56	104	72	212	140

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 212百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	9.62円	0.49円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期 純損失金額( )(百万円)	236	12
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(百万円)	236	12
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,598	24,598

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年6月7日

株式会社ウイルコホールディングス

取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 向山 典佐 印指定社員  
業務執行社員 公認会計士 許 仁九 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウイルコホールディングスの2018年11月1日から2019年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年2月1日から2019年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年11月1日から2019年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウイルコホールディングス及び連結子会社の2019年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。